



日本銀行金融研究所
Institute for Monetary and Economic Studies,
Bank of Japan

金研ニュースレター

2020年1月

金融研究所 (Institute for Monetary and Economic Studies, IMES) は、1982年10月に日本銀行創立100周年を記念して、日本銀行の内部組織の1つとして設立されました。金融研究所は、金融経済の理論、制度、歴史に関する研究を行っているほか、金融経済に関する歴史的資料の収集・保存・公開を行っています。

ハイライト

第21回情報セキュリティ・シンポジウム

「金研ニュースレター」は、日本銀行金融研究所が主催するイベントなどを、幅広い読者を対象に、タイムリーにお知らせすることを通じて、金融研究所の活動を紹介することを目的としています。

第21回情報セキュリティ・シンポジウム

日本銀行金融研究所情報技術研究センター (CITECS) は、2019年12月9日、日本銀行本店において、「暗号資産のセキュリティ」と題して、第21回情報セキュリティ・シンポジウムを開催しました。

今回のシンポジウムには、情報セキュリティ技術に関わる金融機関関係者、暗号資産に関連する



開会挨拶を行う井上広隆 情報技術研究センター長 (日本銀行)
※写真はすべて野瀬勝一が撮影したものです。また、各参加者の所属はシンポジウム開催時点のものです。



当日の会場の様子



キーノート・スピーチを行う松尾真一郎リサーチ・プロフェッサー(ジョージタウン大学)



「暗号資産のセキュリティを巡る最新動向(1)」と題して講演する面和成准教授(筑波大学)

サービスを提供する企業などの実務者、大学などの研究者、システム開発・運用に携わる技術者など、約90名が参加しました。

キーノート・スピーチとして、ジョージタウン大学の松尾真一郎リサーチ・プロフェッサーは、暗号資産を構成する技術やセキュリティに関する研究動向を俯瞰したうえで、暗号資産のセキュリティを確保するためには、各分野の専門家が連携し、知見を結集して対応することが重要であると説明しました。

講演1として、筑波大学の面和成准教授は、暗号資産のシステムがネットワーク上の攻撃に悪用されるリスクについて発表を行いました。面准教授は、暗号資産がブロックチェーン上で記帳されている場合のリスクを紹介し、例えば、システムを止めることができないブロックチェーンに不正なプログラムが埋め込まれ、それによって他のサーバが攻撃を受けるリスクなどに留意する必要があると説明しました。



「暗号資産のセキュリティを巡る最新動向(2)」と題して講演する宇根正志(日本銀行)

講演2として、金融研究所の宇根は、暗号資産自体が攻撃の対象となるリスクについて主な研究事例を紹介しました。宇根は、暗号資産のリスクに関する研究事例を実務に活用していくことが必要であるとしたうえで、脆弱性に関する情報を関係者間で共有しつつ対応するための枠組みを整備していくことが重要であると説明しました。



パネル・ディスカッションで発言する鎌田敬介専務理事/CTO(金融 ISAC)



パネル・ディスカッションで発言する曾川景介取締役/CTO(メルペイ)

パネル・ディスカッションでは、「暗号資産のセキュリティに関する研究成果を実務へ活用していくうえでの課題」と題して、暗号資産に特有のリスク、研究者と技術者との間の情報共有や連携のあり方などについて、3名のパネリストによる討議が行われました。こうした論点に関連して、金融 ISAC の鎌田敬介専務理事/CTO

は、金融分野における脆弱性の情報共有やインシデント対応の活動状況を紹介しました。メルペイの曾川景介取締役/CTO は、電子決済のサービスを提供するシステムの開発・運用にかかる事例や経験を披露しました。

また、会場の参加者からもパネリストに質問が寄せられ、活発な議論が展開されました。



モデレーターとパネリスト(左から順に): 松尾真一郎リサーチ・プロフェッサー、面和成准教授、鎌田敬介専務理事/CTO、曾川景介取締役/CTO

日本銀行金融研究所による最近の研究成果物

金融研究所ディスカッション・ペーパー・シリーズ

- No. 2019-E-21** “Prolonged Low Interest Rates and Banking Stability” by Kosuke Aoki, Ko Munakata, and Nao Sudo, November 2019
- No. 2019-J-17** 秋葉賢一、羽根佳祐、「IFRS における収益認識に関する帰納的検討」、2019年11月
- No. 2019-J-16** 風戸正行、黒崎哲夫、五島圭一、「日本銀行による景気判断のトーン分析」、2019年11月
- No. 2019-E-20** “The Disclosure of Non-GAAP Performance Measures and the Adoption of IFRS: Evidence from Japanese Firms’ Experience” by Yuta Shibasaki, and Chikara Toyokura, November 2019
- No. 2019-E-19** “Household Income, Portfolio Choice and Heterogeneous Consumption Responses to Monetary Policy Shocks” by Fumitaka Nakamura, November 2019

金融研究 第38巻第4号 (2019年10月発行)

- 「2019年国際コンファランス『低インフレ・低金利環境のもとでの中央銀行デザイン』議事要旨」
- 黒田東彦、「2019年国際コンファランス『低インフレ・低金利環境のもとでの中央銀行デザイン』開会挨拶」
- ジャン・クロード・トリシェ、「前川講演：ユーロ圏の経済・財政・金融ガバナンス：過去の困難と成功—現在の課題—将来の道筋」
- カール・E・ウォルシュ、「基調講演：低金利環境のもとでのインフレ目標政策とその代替的な政策運営枠組み」
- 宇野 淳、戸辺玲子、「中央銀行の国債保有と金利期間構造」
- 平良耕作、「金融規制の効率性と透明性：米国における金融規制の見直しを題材に」

金研ニュースレター 2020年1月

※本誌に関する照会は、日本銀行金融研究所までお寄せください。

無断での転載・複製はご遠慮ください。

日本銀行金融研究所 (IMES)

〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町 2-1-1

TEL: 03-3279-1111 (大代表)

FAX: 03-3510-1265

E-mail: imes.journals-info@boj.or.jp

ホームページ: <https://www.imes.boj.or.jp/index.html>